

ワンタッチプライベート ユーザーズマニュアル



目次



マニュアルの表記.....	3
1. ワンタッチプライバシーへようこそ.....	4
2. ワンタッチプライバシーを使うための準備.....	5
2-1. 初回起動時の設定.....	5
2-2. 起動時のパスワード入力.....	8
3. データを登録する.....	9
3-1. データを登録するうえでの注意事項.....	9
3-2. データを登録する.....	9
3-3. 登録を解除する.....	10
4. 登録データを隠す／表示する.....	11
4-1. 登録データを隠す.....	11
4-1-1. 一括して隠す.....	11
4-1-2. 登録データごとに隠す.....	11
4-1-3. ショートカットキーで登録データを隠す.....	13
4-2. 登録データを表示する.....	14
4-2-1. 優先表示.....	15
5. 登録データの自動消去.....	16
5-1. 登録データの自動消去を設定する.....	16
6. オプション設定について.....	19
6-1. 隠すレベルの設定.....	19
6-2. 開いているファイルを隠す際の設定.....	19
7. Q&A 集.....	20
7-1. Q&A.....	20
8. 付録.....	22
ソフトウェアの追加使用条件.....	22
著作権情報.....	23

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2015 年 10 月現在のものです。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。

■タッチ操作について

タッチ操作の場合、クリックと記載されている箇所をタップと読み替えてください。右クリックと記載されている箇所では、1本指で画面を触れた状態でしばらく待ち、四角い枠が表示されたら画面から指を離す操作を行ってください。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を以下のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10	Windows または Windows 10
Microsoft Word 2016	Word
Microsoft Excel 2016	Excel
Microsoft PowerPoint 2016	PowerPoint

1. ワンタッチプライバシーへようこそ

ワンタッチプライバシーは、登録したファイルやフォルダーを簡単に隠すことで、あなたの大切なデータを守るアプリです。

また、あらかじめ指定した期間にご利用がない場合、登録したデータを自動的に消去することもできます。

ワンタッチプライバシーの使い方の流れ

1. ファイルやフォルダーを登録する



隠したいファイルやフォルダーをウィンドウ内にドラッグして、ワンタッチプライバシーに登録します。

2. ファイルやフォルダーを隠す



ウィンドウ右上の「すべてを隠す」ボタンを押すと、ファイルやフォルダーが見えなくなり、他のアプリからはアクセスできなくなります。

3. ファイルやフォルダーを表示する



アクセスしたいファイルやフォルダーの「隠す」スイッチを「オフ」にすると、ファイルやフォルダーが表示され、他のアプリからもアクセスできるようになります。

2. ワンタッチプライバシーを使うための準備


初回起動時に、追加使用条件の同意と、パスワードの登録を行ってください。

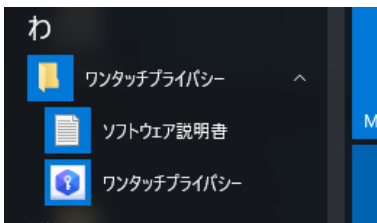
パスワードを登録すると、アプリ起動時にパスワード入力が必要になるので、第三者からどのファイルやフォルダーを登録しているのかも隠すことができます。

重要

- ワンタッチプライバシーを使うためには、パスワードを登録する必要があります。
- パスワードを忘れた場合、ワンタッチプライバシーを起動できません。登録したデータには二度とアクセスできなくなります。また、自動消去を設定していた場合、自動消去の設定も解除できません。指定した期間でデータは自動的に消去されます。

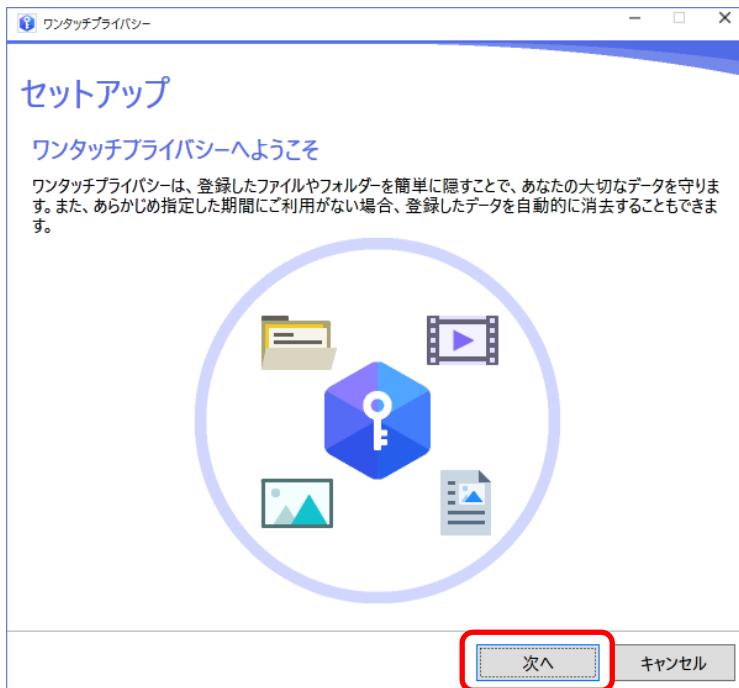
2-1. 初回起動時の設定

1.  (スタート) → 「すべてのアプリ」 → 「ワンタッチプライバシー」 → 「ワンタッチプライバシー」の順にクリックします。



2. ワンタッチプライバシーの紹介画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

ワンタッチプライバシーの紹介画面は初回起動時のみ表示されます。



3. 「ソフトウェアの追加使用条件」画面が表示されたら、内容を確認し、①「追加使用条件に同意する」にチェックを付け、②「次へ」ボタンをクリックします。

追加使用条件は下までスクロールして確認してください。

ワンタッチプライバシー

追加使用条件

ワンタッチプライバシーをご利用いただくための追加使用条件です。内容をよくご確認ください。

富士通株式会社（以下「弊社」といいます）は、「ワンタッチプライバシー」（以下「本ソフトウェア」といいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、「ソフトウェアの使用条件」へのご同意に加え、下記「ソフトウェアの追加使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

■ソフトウェアの追加使用条件

本ソフトウェアは、（１）号に定める情報（以下「収集情報」といいます）を収集し、インターネット経由でそれらを自動的に弊社サーバーに転送します。なお、収集情報には、お客様のアカウント名やパスワード、住所、氏名およびメールアドレス、本ソフトウェアで操作されたフォルダーやファイルの名称および内容は含まれません。弊社は、収集情報を（２）号に定める目的でのみ利用します。

（１）収集情報

- ・本ソフトウェアを利用されるお客様端末の機器情報（OS、製品型名、デバイスID、本ソフトウェアの名称およびバージョン）
- ・本ソフトウェアのご利用状況（本ソフトウェアの起動、フォルダーやファイルの隠蔽・公開、自動消去機能の設定状況、パスワードのヒントの有無、フォルダーやファイルの登録数と容量）

1 追加使用条件に同意する

2 次へ キャンセル

Point

- 追加使用条件に同意いただいた後は、この画面は表示されなくなります。ただし、追加使用条件の更新があった場合は再度表示されます。追加使用条件は、本書「8. 付録」(→P.22)にも記載しています。

4. 「パスワード登録」画面が表示されたら、①パスワードを入力し、②「登録する」をクリックします。

ワンタッチプライバシー

パスワード登録

ワンタッチプライバシーをご利用いただくには、毎回パスワード入力が必要です。
パスワードを忘れた場合、登録したデータには二度とアクセスできなくなります。
また、自動消去を設定していた場合、指定した期間でデータを自動的に消去します。

パスワードを入力してください [必須]

1

確認のため、もう一度パスワードを入力してください [必須]

使用可能文字
6文字以上 24文字以内、「英字」「数字」「記号」から2種類以上使用
英数字(半角): A~Z,a~z,0~9
記号(半角): `~!@#\$%^&*()_+={}|:;'">.,?/'

パスワードのヒント

2 登録する キャンセル

Point

- 本画面で登録したパスワードはワンタッチプライバシーのみで使用します。Windows のパスワードなど、他のパスワードには影響がありません。
- パスワードを忘れた場合に備え、ヒントを入力することをお勧めします。

5. 「ワンタッチプライバシーの使い方」という画面が表示されたら、「次へ」をクリックして読み進め、最後まで進んだら「完了」をクリックします。

「登録データ一覧」画面が表示されます。

これでワンタッチプライバシーを使うための準備は完了です。

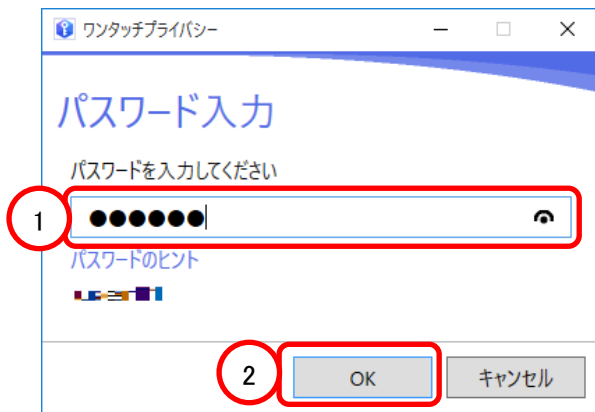
Point

- パスワードは後で変更することもできます。「登録データ一覧」画面で、「設定」をクリックし、表示された画面から「パスワード変更」をクリックすると、変更画面を表示できます。

2-2. 起動時のパスワード入力

パスワードを設定すると、次回起動時からパスワード入力しないとワンタッチプライバシーは起動できません。

1. ワンタッチプライバシーを起動します。
2. パスワード入力画面が表示されたら、①パスワードを入力し、②「OK」をクリックしてください。




「登録データ一覧」画面が表示されます。

Point

- パスワード入力に失敗した場合は、パスワードのヒントが表示されます。
- 「キャンセル」をクリックすると、ワンタッチプライバシーが終了します。

3. データを登録する

3-1. データを登録するうえでの注意事項

- 以下のデータは登録できません。
 - ・Windows のシステムフォルダー／ルートフォルダー
 - ・外付けドライブ-Blu-ray Disc／DVD／CD ドライブのファイル・フォルダー
 - ・他ユーザーが登録しているファイル・フォルダー
 - ・ライブラリ直下のフォルダー（ドキュメント／ピクチャ／ビデオ／ミュージック）※
 - ・「お気に入り」「アドレス帳」フォルダー※
 - ・他のアプリが格納されているフォルダー
 - ・他のアプリに関するユーザーの設定情報が格納されているフォルダー
 - ・My Cloud プレイにて取り扱うデータの保存場所
詳しくは、『[My Cloud プレイユーザーズマニュアル](#)』をご覧ください。
- ※各フォルダー直下のファイル・サブフォルダーは登録可能です。
- フォルダーを登録した場合は、登録フォルダー内へ後から追加されたファイル・フォルダーはすべて隠す対象となります。

3-2. データを登録する

1. ワンタッチプライバシーを起動し、パスワード入力を行います。
2. 「登録データ一覧」画面が表示されたら、登録したいファイル・フォルダーをドラッグします。



Point

- データの登録は以下の方法で行うこともできます。
 1. 「登録データ一覧」画面右上の①「ファイル・フォルダーの追加」をクリックし、②表示されたメニューから、「ファイルの追加」または「フォルダーの追加」をクリックします。

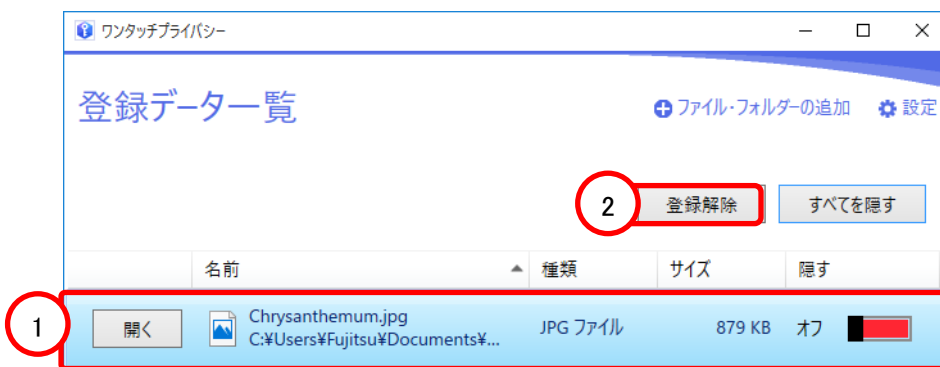


2. 登録したいファイル・フォルダーを選択し、「開く」または「OK」をクリックします。

3-3. 登録を解除する

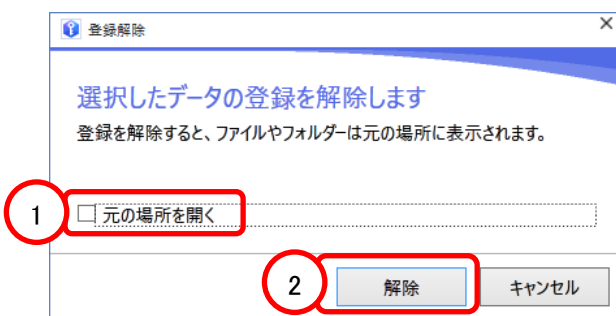
「登録データ一覧」画面から表示が消えるだけでデータは残ります。登録を解除されたデータは元の場所へ戻ります。

1. ①「登録データ一覧」画面で解除する登録データを選択し、②「登録解除」をクリックします。





2. 解除してよいかどうか確認する画面が表示されたら、②「解除」をクリックします。

①にチェックを付けておくと解除後にファイル・フォルダーの格納場所が表示されます。



Point

- 「隠す」スイッチが  (オン) になっている場合も登録解除できます。スイッチが  (オフ) になってから元の場所へ戻ります。

4. 登録データを隠す／表示する

登録したデータを様々な方法で隠す／表示することができます。

重要

- 隠す機能は、完全に隠すことを保証するものではありません。

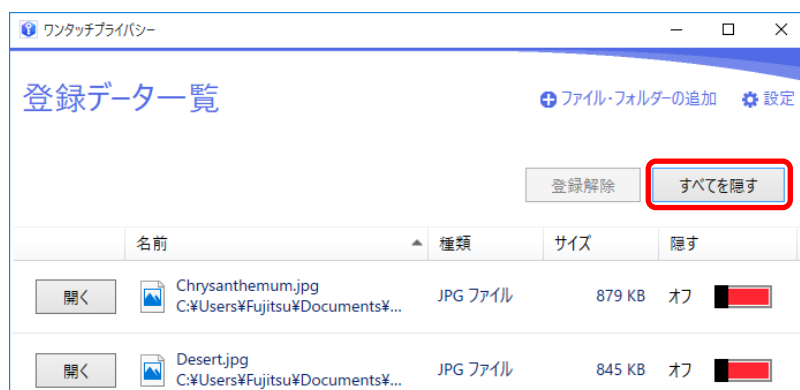
4-1. 登録データを隠す

登録したデータは、一括またはデータごとに隠せます。

4-1-1. 一括して隠す

1. ワンタッチプライバシーを起動し、パスワード入力を行います。
2. 「登録データ一覧」画面が表示されたら、「すべて隠す」をクリックします。

すべての登録データが隠されます。




4-1-2. 登録データごとに隠す

1. ワンタッチプライバシーを起動し、パスワード入力を行います。
2. 「登録データ一覧」画面が表示されたら、隠したい登録データの「隠す」スイッチをクリックし、 (オン)に切り替えます。

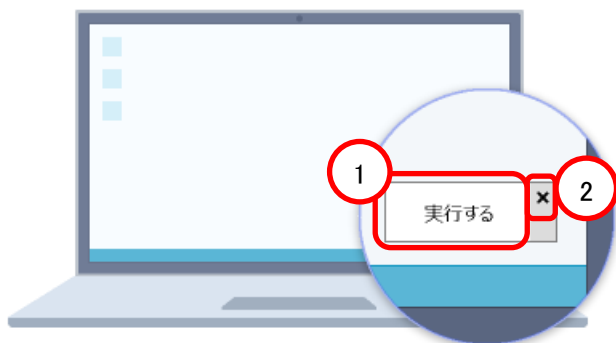
隠した状態[(オン)]の登録データは隠されます。





3. **×** をクリックします。


ワンタッチプライバシーを終了するとき、表示された状態[ (オフ)]の登録データがあった場合、「実行する」ボタンが表示されます。

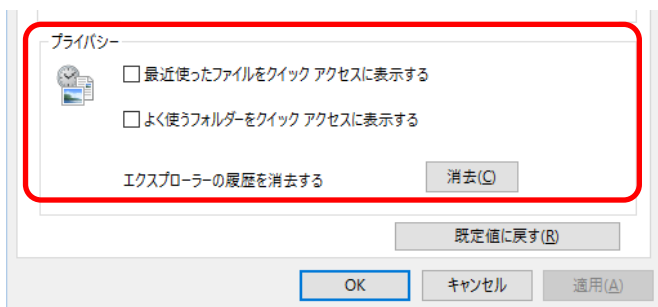
4. デスクトップ画面右下に「実行する」ボタンが表示されたら、次のように操作します。



- 表示された状態[ (オフ)]の登録データを隠したいとき
① 「実行する」をクリックします。
- 表示された状態[ (オフ)]の登録データを表示したままにしたいとき
② 「×」をクリックします。

Point

- ワンタッチプライバシーを終了するとき、「隠す」スイッチが (オフ)になっている登録データがあった場合、初回は「実行する」ボタンの説明メッセージが表示されます。
- ファイルを開いた状態のまま隠すときには、強制終了の確認メッセージが表示されます。
保存処理をしてから隠す設定に変更することができます。
「6-2. 開いているファイルを隠す際の設定」(→P.19)
- Windows の設定で「コントロールパネルーファイル履歴」の設定を「オンにする」にしている場合、隠す対象のバックアップが残る可能性があります。隠す対象のバックアップを残さない様にするには、「ファイル履歴」の設定を「オフにする」にするか、「除外するフォルダー」の対象に設定してください。
- エクスプローラーの初期設定ではクイックアクセスに「よく使用するフォルダー」「最近使用したファイル」が表示されます。Windows のシステムが表示しているため、隠す対象を隠しても登録データの情報は表示されたままとなります。リストを表示させないためには、「コントロールパネルーエクスプローラーのオプション」の「プライバシー」のチェックを外してください。

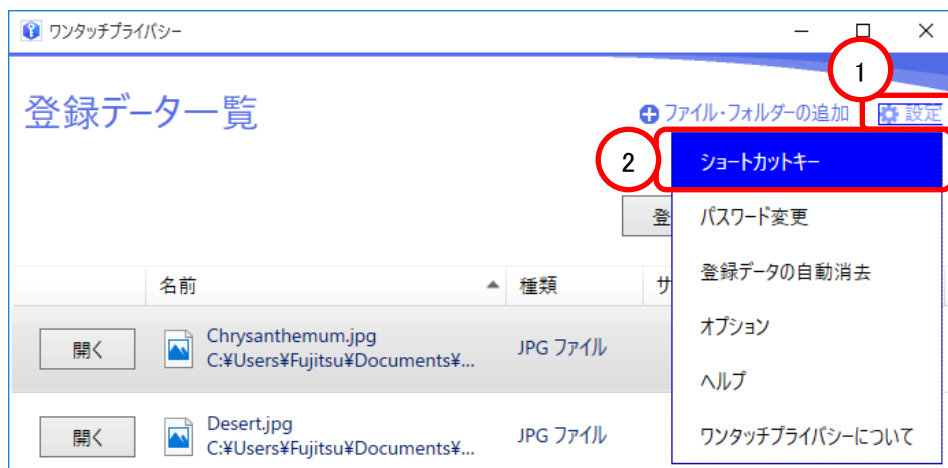


4-1-3. ショートカットキーで登録データを隠す

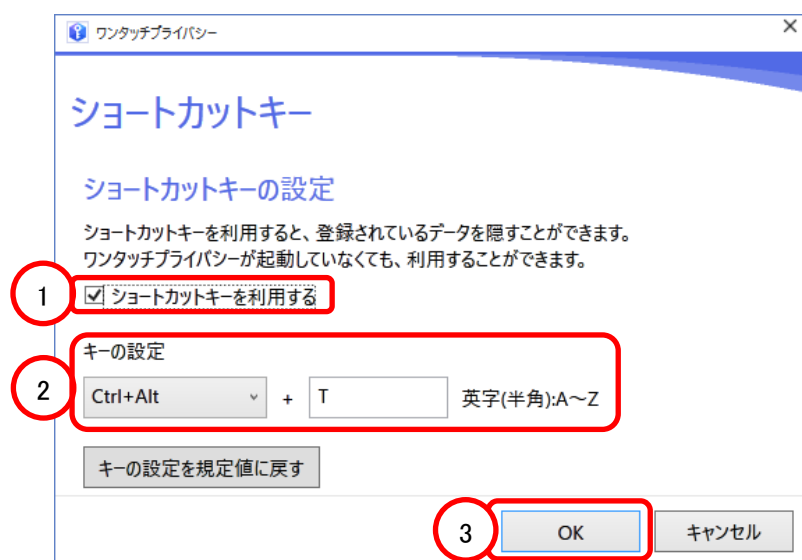
ショートカットキーを実行すると、登録データがすべて隠されます。ワンタッチプライバシーが起動していない場合も、実行できます。

ショートカットキーは、以下の手順で登録できます。

1. 「登録データ一覧」画面で、①「設定」をクリックし、②表示されたメニューから「ショートカットキー」をクリックします。

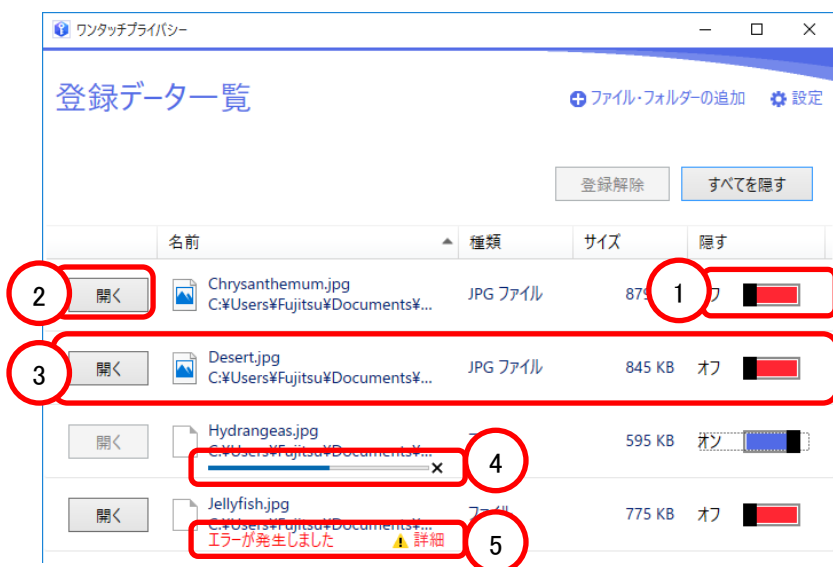


2. ①「ショートカットキーを利用する」にチェックを付け、②キーの設定でお好みのショートカットキーを設定し、③「OK」をクリックします。




4-2. 登録データを表示する

登録データを表示したり、他のアプリからアクセスするためには、登録データ一覧画面で操作してください。





3通りの方法があります。



- ① 「登録データ一覧」画面上の各データの「隠す」スイッチを切り替える

表示したい登録データの「隠す」スイッチをクリックして、 (オフ)にします。

- ② 「登録データ一覧」画面上の各データの「開く」ボタンをクリックする

「隠す」スイッチが  (オン)になっている場合は、スイッチが  (オフ)になってから格納フォルダーを開きます。

- ③ 「登録データ一覧」画面上の各データをダブルクリックする

「隠す」スイッチが  (オン)になっている場合は、スイッチが  (オフ)になってから格納フォルダーを開きます。


Point

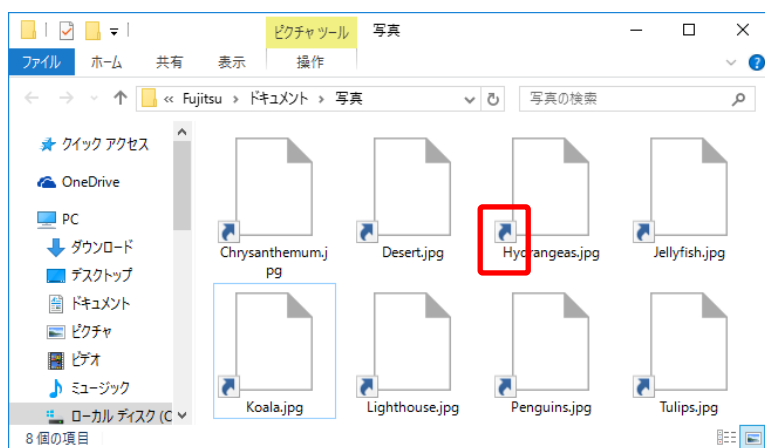
- 登録データは元のフォルダーに表示されるだけで、実行はされません。
- データ容量が大きいときは、隠す／表示する処理中に④プログレスバーが表示され、進捗状況が表示されます。バー右端の×をクリックすると、現在の処理が中止されデータは元の状態に戻ります。
- 隠す／表示する処理でエラーが発生した場合は、⑤エラーメッセージが表示され、登録データを元の場所・状態に戻します。「詳細」をクリックすると「履歴」画面が表示されます。エラーが発生した場合は「7. Q&A 集」(→P.20)を参照して対処してください。
- いつ、隠す／表示する処理を行ったかなどの履歴を確認することができます。③「登録データ一覧」画面上の各データを右クリックし、表示されたメニューから「履歴の表示」をクリックしてください。

4-2-1. 優先表示

登録フォルダー内に多くのデータが格納されていると、すべてのファイルを表示状態に切り替えるのに時間がかかることがあります。その場合は、指定したファイルを優先的に表示することができます。

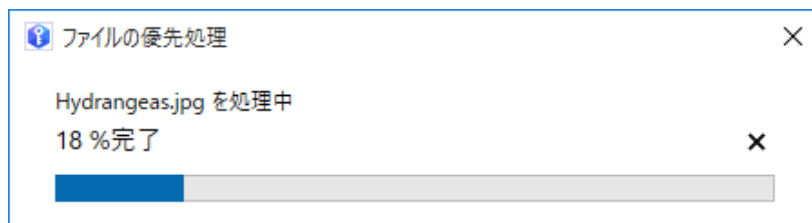
1. 「登録データ一覧」画面で表示したいフォルダーを表示に切り替えます。
2. 表示処理中のフォルダーをダブルクリックして開きます。

フォルダー内のファイルは順次表示されていきます。まだ表示処理が完了していないファイルはが付いています。



3. 優先的に表示したいファイルをダブルクリックします。

表示処理の進捗状況が表示されます。100%に達するとファイルが実行されます。



5. 登録データの自動消去

あらかじめ指定した期間にワンタッチプライバシーの利用がなければ、登録したデータを自動的に消去するよう設定できます。

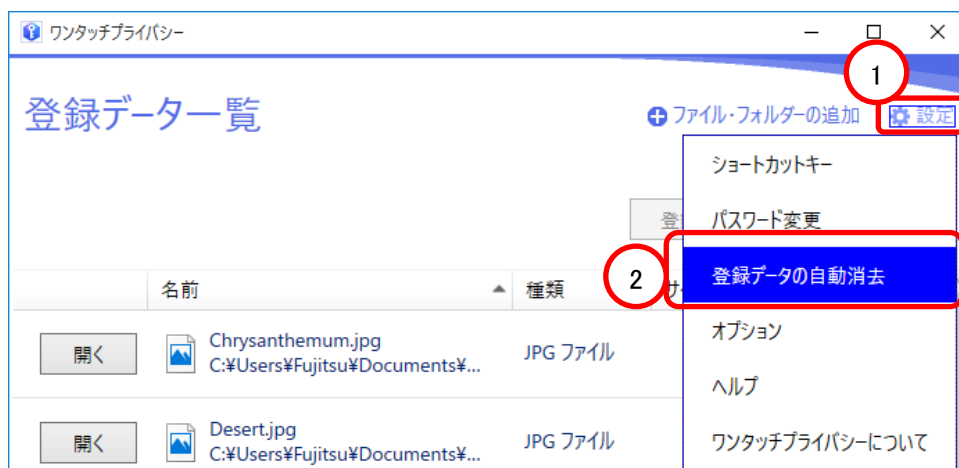
- 「ワンタッチプライバシーの利用」とは以下の操作をすることです。
 - ・ワンタッチプライバシーを起動し、パスワードを入力し、「登録データ一覧」画面を表示する
 - ・ワンタッチプライバシーのショートカットキーを実行する

重要

- 消去されたファイルやフォルダーは、元に戻すことはできません。
- データを消去することについての予告や通知はありません。
- パスワードを忘れた場合、設定の変更およびキャンセルができなくなります。
- パソコンの日付を変更すると、データを消去してしまう場合があります。他のユーザーが変更した場合も同様です。自動消去の設定を解除してから、日付を変更するようにしてください。
- 自動消去機能はファイルをゴミ箱に残さずに削除しますが、記憶装置上から完全に消去することを保証するものではありません。

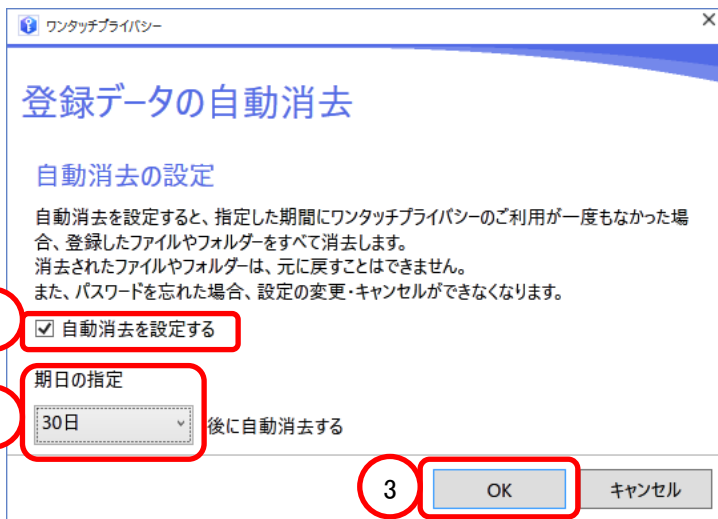
5-1. 登録データの自動消去を設定する

1. 「登録データ一覧」画面で、①「設定」をクリックし、②表示された画面から「登録データの自動消去」をクリックします。

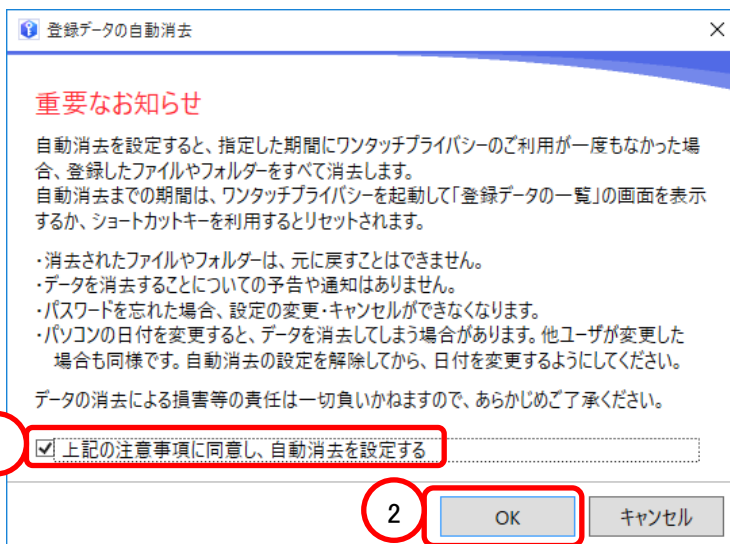


2. 「登録データの自動消去」画面が表示されたら、①「自動消去を設定する」にチェックを付け、②「期日の指定」で▼をクリックして、期日を選択し、③「OK」をクリックします。

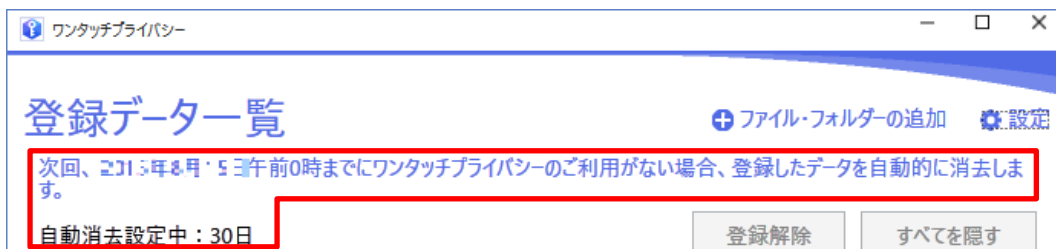
期日は「30日」「60日」「90日」「180日」「360日」から選択することができます。



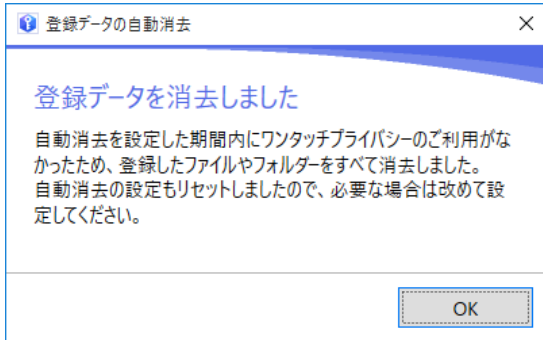
3. 「登録データの自動消去」ウィンドウが表示されたら、「重要なお知らせ」をよく読んで、①チェックを付け、②「OK」をクリックします。



自動消去を設定すると「登録データ一覧」画面上部に設定した内容が表示されます。



- Windows を長期間起動していな場合、登録データを消去する日を過ぎた後に Windows を起動したときに、登録データは消去されます。
- 登録データが消去された後に、初めてワンタッチプライバシーを起動し、パスワードを入力したときに、登録データを消去したメッセージが表示されます。



- 自動消去されると、自動消去の設定はリセットされ、自動消去設定なしとなります。
- ワンタッチプライバシーを起動したときに、自動消去中の場合は以下の画面が表示されます。



6. オプション設定について

登録データを隠すときのオプションが設定できます。

Point

- オプションは登録データ一覧のすべてのファイル・フォルダーへ適用されます。

6-1. 隠すレベルの設定

データを隠すレベルを以下の2種類から選択できます。

- 隠すレベル: 中 (ファイル・フォルダーの名前と拡張子を変更)
- 隠すレベル: 高 (名前と拡張子を含むデータ全体を変更)

「隠すレベル: 高」でデータ全体を保護した場合、隠すレベルが向上しますが、「隠す／表示する」の切り替えに時間がかかることがあります。

※初期設定は「隠すレベル: 中」です。

※変更した設定は、次に登録データを隠すときから反映されます。

1. 「登録データ一覧」画面で、「設定」をクリックし、表示された画面から「オプション」をクリックします。
2. 「オプション」画面が表示されたら、「隠すレベルの設定」で、「隠すレベル: 中」または「隠すレベル: 高」のいずれかをクリックして にし、「OK」をクリックします。

6-2. 開いているファイルを隠す際の設定

開いているファイルを隠す場合、ファイルを開いているアプリを終了しなければならない場合があります。詳細は「7. Q&A 集」(→P.20)を参照してください。

すぐに強制終了するか、保存などの処理をしてから終了するかを選択できます。

強制終了した場合、ファイルはすぐに隠せますが、保存していない内容は失われます。保存などの処理をした場合、隠すまでに時間がかかることがあります。

※初期設定は「強制終了する」です。


※変更した設定は、次に登録データを隠すときから反映されます。

1. 「登録データ一覧」画面で、「設定」をクリックし、表示された画面から「オプション」をクリックします。
2. 「オプション」画面が表示されたら、「ファイルを隠す際の設定」で、「強制終了する」または「保存などの処理をしてから終了する」のいずれかをクリックして にし、「OK」をクリックします。

7. Q&A 集

7-1. Q&A

質問	回答
ファイルを隠す際の設定で「強制終了する」を選択しても、ファイルを開いているアプリが終了されない。	ファイルを開いているアプリによって、ファイルがロック(※)される場合・ロックされない場合があります。 <ul style="list-style-type: none">• ロックされる場合、「強制終了する」選択時に強制終了が実行されます。• ロックされない場合、ファイルを隠す際の設定に関わらず、ファイルは隠されますが、ファイルを開いているアプリは表示されたままとなります。表示しているアプリはご自身で終了ください。 <p>※ロックは、他のプロセスからファイル・フォルダーの変更/移動が行えない状態です。</p>
登録データを隠したまま、アプリのアンインストールを行った。	アンインストール時に隠しているデータは削除されません。再インストール後は、前回の登録パスワードを入力することで継続してアプリ使用可能です。
登録データを表示する際にエラーとなり、履歴画面に「表示処理失敗、優先公開ショートカットを削除できません。」というメッセージが表示される。	対象のショートカットファイルを別プロセスがロックしているため、ショートカットの削除に失敗しています。 この場合は、しばらく待ってから再度実行してください。
登録データを隠す際にエラーとなり、履歴表示画面に「フォルダーを移動できません」というメッセージが表示される。	対象の登録データ中に、エクスプローラーで使用可能なパスの最大長を超えるパスが含まれている場合に表示されます。 フォルダー名を短く変更する、フォルダーの階層を浅くするなどを行って再度実行してください。Windows では、単一パスは最大 260 文字までに制限されています。
登録データを隠す際にエラーとなり、履歴表示画面に「ファイルを移動できません」というメッセージが表示される。	以下の場合に登録データを隠そうとすると、メッセージが表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 対象のファイルを別プロセスがロックしている場合 しばらく待ってから再度実行してください。• 対象のファイルがエクスプローラーで使用可能なパスの最大長を超える場合 ファイル名を短く変更する、浅い階層のフォルダーへ移動するなどを行って再度実行してください。Windows では、ドライブのルートフォルダー以外のフォルダーにファイルを作成する場合、ファイル名の長さは 255 文字未満に制限されています。

質問	回答
<p>「OTPHelper」ウィンドウに「アプリケーションでエラーが発生しました。アプリケーションを終了します」とメッセージが表示される。</p>	<p>ワンタッチプライバシーの動作に必要なサービスが起動できない場合に表示されます。メッセージ表示後は、登録したデータを隠すためのショートカットキー機能をご利用いただけません。 この場合は、パソコンを再起動して、サインインし直してください。</p>
<p>エクスプローラーを起動すると、クイックアクセスが表示され、隠されている登録データのサムネイルやファイル・フォルダー名が表示される。</p>	<p>クイックアクセスは Windows のシステムが表示しているため、隠す対象を隠しても登録データの情報は表示されたままとなります。登録データの情報を非表示にする場合は「4-1-2. 登録データごとに隠す」(→ P.11)の  を参照してください。</p>
<p>登録したフォルダーが隠せない。</p>	<p>他のアプリが使用するフォルダーを隠す場合、フォルダー/フォルダー内へ格納されているファイルが一時的/永続的にロックされ、隠すことが出来ない場合があります。この場合は、しばらく待ってから再度実行するか、フォルダーを登録解除しファイル毎に登録してください。</p> <p>以下、他のアプリが使用する可能性のあるフォルダーとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <ユーザー名>\Pictures\Camera Roll ※日本語表記「カメラ ロール」 • <ユーザー名>\Pictures\Saved Pictures ※日本語表記「保存済みの写真」 • <ユーザー名>\Pictures\Screenshots ※日本語表記「スクリーンショット」
<p>データを登録しようとする、「ファイル名に認識できない文字が含まれています」というメッセージが表示されて登録できない。</p>	<p>エラーメッセージの中のファイル名に、認識できない文字が「?」で表示されます。ファイル名の該当部分を環境依存文字でない文字に変更して、再度登録を実行してください。</p>
<p>登録したフォルダーを隠す際、エラーとなり、履歴表示画面に「ファイル名に認識できない文字を含んでいます」というメッセージが表示される。</p>	<p>エラーメッセージの中のファイル名に、認識できない文字が「?」で表示されます。ファイル名の該当部分を環境依存文字でない文字に変更してから、対象フォルダーを再度登録し直して、実行してください。</p>
<p>開いているファイルを隠す際の設定を「保存などの処理をしてから終了する」にしている時、ファイルを開いたまま隠すと、エラーとなり、履歴表示画面に「ファイルを移動できません」というメッセージが表示される。</p>	<p>ファイルを開いているアプリで、保存処理が正常に動作していない可能性があるため隠せません。ファイルを閉じてから、再度実行してください。</p>

8. 付録

ソフトウェアの追加使用条件

富士通株式会社(以下「弊社」といいます)は、「ワンタッチプライバシー」(以下「本ソフトウェア」といいます)をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、「ソフトウェアの使用条件」へのご同意に加え、下記「ソフトウェアの追加使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

■ソフトウェアの追加使用条件

本ソフトウェアは、(1)号に定める情報(以下「収集情報」といいます)を収集し、インターネット経由でそれらを自動的に弊社サーバーに転送します。なお、収集情報には、お客様のアカウント名やパスワード、住所、氏名およびメールアドレス、本ソフトウェアで操作されたフォルダーやファイルの名称および内容は含みません。弊社は、収集情報を(2)号に定める目的でのみ利用します。

(1) 収集情報

- ・本ソフトウェアを利用されるお客様端末の機器情報(OS、製品型名、デバイス ID、本ソフトウェアの名称およびバージョン)
- ・本ソフトウェアのご利用状況(本ソフトウェアの起動、フォルダーやファイルの隠蔽・公開、自動消去機能の設定状況、パスワードのヒントの有無、フォルダーやファイルの登録数と容量)
- ・本ソフトウェアで操作したファイルの種別情報(「写真」、「動画」、「音楽」、「Word」、「Excel」、「PowerPoint」、「テキスト」、「CSV」、「その他文書ファイル」、「圧縮ファイル」、「アプリケーション」、「ブックマーク」、「HTML」、「メール」、「ISO」、「その他形式」のいずれかの種別に分類します)

(2) 収集情報の利用目的

本ソフトウェアの機能改善

(3) 子会社および委託先への開示

弊社は前項の利用目的に必要な範囲で、収集情報を業務委託先に預託し、取扱わせることができるものとします。

著作権情報

本マニュアルの一部または全部について、文書による富士通株式会社の許可を得ない限り、写真複製、録音、検索システムへの保存、または他の言語への翻訳を含む電気的手段、機械的手段、および他のいかなる方法によっても、複製または転用することを禁じます。

予告なく記載事項の一部を変更することがあります。本書の完全性及び正確さを確保するために正当な努力を行いますが、黙示の保証に制限されることなく富士通株式会社はこの書面に関して一切の保証をするものではありません。富士通株式会社は文中の誤記や落脱、本マニュアルの利用に関わるいかなる損害についても責任を負わないものとします。

ワンタッチプライバシーは、富士通株式会社の製品です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2015-2017

商標について

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

ワンタッチプライバシー ユーザーズマニュアル

B5FW-0341-01 Z0-01

発行日 2017年06月

発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。